

美空まさか二連敗

紙相撲新聞

第150回本場所
三～五日目号

編集・発行
日本紙相撲協会

絶好調の美空にまさかの落し穴

好機と横綱初優勝を狙う若嶋

【第一百五十回本場所三日～五日目】

紙相撲本場所は10月6日、2週間前の前開催日時の蒸し暑さとはうってかわり肌寒さを感じるどんより曇った空のもと、幕内と十両の三日目から五日目に新弟子検査のあと幕下、育成会も初日を迎えた。

五日目までを取り終えて五連勝で全勝を守ったのは平幕の生駒山ただ一人



↑五日目、前日敗れて連敗は避けたい美空富士だったが、今場所復調の兆しの白閃光の渾身の上手投げ一閃に土俵を横転した。

↓四日目、左差しから一気に攻めた美空だったが、磯昇の引き技に痛恨の黒星を喫した。



今場所は大関魁電、関脇支那虎が連敗スタートで躓いたものの、先場所からの好調さを保持する美空富士、春ノ翔、佐賀ノ海が連勝で二日目を終え先ず先ずのスタートに思えた初日開催。そんな上位陣の活躍が期待された三日目から五日目に波乱が起

となり、その先頭を一敗の若嶋、春ノ翔、佐賀ノ海、源氏丸、出羽翼、四季嶋、伊達の富士の7名が追う展開となった。

初日、二日目と横綱相撲で完勝していつもの勝ち場が続き、三日目は若嶋、更なる白星を期待される月山の挑戦を受けた三日目。立会いで

このまま難なく連勝を決めるものと思われた四日目、磯昇を相手にこの一番でも鋭い出足から右を追っ付け土俵一周ほど攻め込んで左を差し向正面に寄るも、攻め切れず引き落としとされまさかの黒星。

初日、二日目と横綱相撲で完勝していつもの勝ち場が続き、三日目は若嶋、更なる白星を期待される月山の挑戦を受けた三日目。立会いで



月山○(引き落とし)●若嶋

の胸しい当たりのど輪で土俵一周の攻め立て月山を仰け反らせるも、左右の揺さぶりに押し込み切れず引き落としとされまさかの黒星。序盤での黒星。には大の苦手とす

そのほか1敗を守ったのは先場所からの好調さを見せる大関春ノ翔、関脇佐賀ノ海、小結源氏丸の三役陣に平幕では惜しくも五日目に敗れを喫した出羽翼、二日目から4連勝の四季嶋、再入幕の伊達の富士が先頭を追う。五日目までを取り終えて役力士はおろか早くも全勝力士が平幕の生駒山ただ一人となりその先頭を追うのは若嶋をはじめとする1敗の7名。更に美空富士を含めた12名の2敗勢が続く。

続く五日目には綱嵐と対戦し左を差され終始劣勢ながらも土俵際で粘りを見せ、二日目の伊達の富士戦に続いて引き落としで星をとった。六日目以降は自身より上位の力士が相手となる。型に嵌れば自身を発揮するその反面呆気なく敗れる脆い部分があり、それを克服出来れば更に白星を重ねられるだろう。果たしてどこまで先頭を走る事が出来るのか？

そんな上位陣から全勝力士が消えるなか、平幕で5連勝を決めたのは生駒山。入幕して以来なかなか勝ち込めず伸び悩んでいるが、今場所はここまで左からの攻めではなく5勝のうち攻めて勝った相撲は右を差しての押し倒し。三日目の大江錦との一番では立会いから互いに左を向う攻防から左が差せないと思えるとのど輪を差して押し倒しに降すと、四日目の初戸戦でも相手のお株を奪う様に立会いから素早くのど輪を差しての勝利。



大江錦●(押し倒し)○生駒山

互角の立会いから右を追っ付け合い土俵4周程の攻防のあと、のど輪を差し込んで東土俵下に力強く押し倒して1敗を死守した。美空富士との星の差がつき付け合い土俵4周程の攻防のあと、のど輪を差し込んで東土俵下に力強く押し倒して1敗を死守した。美空富士との星の差がつきチャンス到来！このまま1敗を守って千秋楽まで優勝戦線を引き張ってもらいたいものだ。